

その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.041

a taste of Yassy

田中 康夫

たなかやすお ●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。[公式ブ
ログ] www.nippon-dream.com/

Yassy, DPK

この辺でいいねとNODAが言つたから11月11日は壞国記念日。

埼玉県在住者の啖きを再投稿する
と早速「この記念日。民主党はベ
リーが来てから条約結ばれて対
等関係になるまでどれほど苦労が
あつたか分かつてない。歴史の勉
強やり直せ。」「先祖に申し訳ない」
と栃木県在住者の打ち返しが有り
ました。

五十音順に阿部知子、稲田朋美、
小野寺五典、城内実、斎藤恭紀、
松木謙公に、公明党の石田祝穂、
日本共産党的高橋千鶴子、国民新

小野寺五典、城内実、斎藤恭紀、
松木謙公に、公明党の石田祝穂、
日本共産党的高橋千鶴子、国民新

党の下地幹郎も加わり、新党日本の僕も合わせて計10名。「TPP交渉協議への参加表明」を11月12日からのAPECの場で日本政府は行うべきでないとする国会決議の実現に関する呼び掛け」を発表したのは7日夕刻です。

実質2日間で232名。みんなの党を除く全ての政党・会派の衆議院議員が自筆署名に応じた動きが触媒となつて10日朝、自民、公明、社民、国新・日本、国守・無所属の5会派で「交渉協議への参加表明」に反対する決議案を衆議院議長に提出。が、議院運営委員会の民主党理事2名、委員5名も署名していた同党は当該委員を差し替えて否決する愚行を演じ、上程されませんでした。

TPPは羊の皮を被つた狼。枯葉剤でヴェトナム戦争に「貢献」し、遺伝子組み換え作物市場で占有率9割の米国モンサント社と長期協力関係を昨年締結した住友化学の米倉弘昌会長（日本経団連会長）と手を握り合つて貴方が推進するTPPに、多くの国民は疑問や不安を抱いている、と11日早朝

“羊の皮を被つた狼”TPPを推進し、民主党は「ひとつひとつ、崩れ落ちていく。」

今週の逸品



村上開新堂のクッキー 6450円

5代目の村上昌英・道子夫妻が営む村上開新堂は「胆力」外交の駐日英國大使館裏手に位置する。伝統的な西洋料理を供すると共に、桃色の缶に精緻に詰められた卓抜したクッキーで知られる。夏季以外に販売の生菓子も含め、食事も購入も紹介者を必要とする。午後のみ新参者も来店可能。と記すと反発する向きも居ようが、店対は懇意であって無礼とは程遠き情深き説得力で印象的。

[村上開新堂] 東京都千代田区一番町27
☎ 03-3261-4882

illustration by Hajime Anzai

の予算委員会で諫言しました。

が、今やメルトダウンからメルトルー状態の民主党は確信犯で、

宰相NODAのポスターに刷り込んだ「ひとつひとつ、乗り越えていく。」を「ひとつひとつ、崩れ落ちていく。」と変更したいのやも知れません。何故ってNODA「交

渉協議への参加表明」会見に対し、山田正彦・原口一博・川内博史の大言壯語トロイオは「ホツ」とした

「全面的勝利」と大本營発表を繰り出したのですから。

直感力に留まらず、洞察力と構築力、決断力と修復力を併せ持つ「胆力」が政治家や企業家、更是芸術家にも求められていると以前に記しました。ステイブルな日本料理を供する招福楼が登場した連載32回です。

一番町の村上開新堂も、「じつと(still)立つて(stand)いられる(stay)」が原義の「ステイブル(stable)」と評するに相応しき、屹立した西洋料理店。英國大使館の裏手に位置します。知る人ぞ知る洋菓子の老舗でもあります。

1874年(明治7年)創業。太郎翁の奮闘で関税自主権を回復するのは1911年(明治44年)。宮内庁大膳職を務めし村上光保氏は鹿鳴館の洋菓子も担当。小村壽

その丁度100年後、国家の根幹たる関税自主権を嬉々として放棄する壞国宰相には理解し得ぬ、明治人が創ったクッキーの叡智です。